

並列関係にある親族呼称の順序性（并列关系亲属称谓的连用顺序）

田 園*・康 庆 玮**・森脇 健夫***

現代中国語の親族呼称のうち、「並列複合語」は、一定の順序により排列される。本論文はその排列順序の規則性を明らかにする。

二音節並列複合語においては、親族呼称を連ねる順序はほぼ意味から決められる。それらを五項目の要素：性別、年齢、同族内年令序列、“宗親”（同一祖先の親族一族）、直系・傍系親族、から具体的に分析した。

多音節の並列複合語については規定要素は二つあり、意味と複合語構成様式である。構成様式は、重ね型と非重ね型に分けられる。二つの様式の順序構成に及ぼす重さは、前者が後者より大きい。

また、二音節複合語内部の語の順序は比較的固定しているが、多音節複合語の内部の順序は可変的である。二つの構成成分語の関係が薄ければ、順序が逆になる可能性が高くなる。

親族呼称における二音節複合語と多音節複合語では、排列順序の規定要因が異なるということである。前者は意味にあり、後者は意味以外に語の構成様式も関わっている。

キーワード：親族呼称、排列順序、語の構成方式、逆の順序

序

並列複合語を構成する単一語の排列順序は、文法の関係に決められることではない。単一語が前にあっても、後ろにあっても、文法の影響を与えない。では、現代中国語における並列複合語を構成する単一語の排列順序は、どのような規定的要素によるのだろうか。一般的に言えば、二つの規定的要素があり、それは意味と声調である。張岡（1980）、程家枢、張雲徽（1989）は意味が決定的な要素だと主張し、古代中国語語彙を研究している陳愛文、于平（1979）は、声調が重要な規定的要素だと指摘している。

現代中国語における並列複合語を連ねる場合の順序は意味から決定されると多くの人は考えている。例えば、周薦（1986）は尊卑と親疎が親族呼称を連ねる順序に影響を及ぼすと述べている。許巧雲、打西阿且（2007）は同族内年令序列と年齢の二つの要素に触れている。高璇（2001）は、性別、同族内年令序列、宗親（同一祖先の親族一族）、直系・傍系親族の四つの決定的要素を提示した。

意味は唯一の決定的要素なのか。意味以外に、どのような規定的要素があるのか。具体的に意味にはどんな要素が含まれているのか。本論に関係する研究は多く存在するが、これらの角度からの考察は少なく、より一層の探究を必要としている。なお、本稿における親族呼称の並列複合語を連ねる順序というのは、二音節の並列複合

語を主にし、それ以外に、多音節の並列複合語も含まれている。

一、二音節の並列複合語

二つの単音節の親族呼称を組み合わせると二音節の複合語になる。この二つの単音節親族呼称の間には並列の関係がある。排列順序は意味により決められる。

親族呼称を連ねる二音節並列複合語の配列順序のほとんどは意味から決められるものである。周薦（1986）は「言葉の持つ意味から考えてみれば、漢言語社会において、二つあるいは二つ以上の物事、現象を同時に取り上げる時に、人はよく意識的にそれを善し悪し、大か小であるか、重要かそれほどでもないか、頻度が高いかまれであるかなどによって、区分しがちである。良い、大きい、重要、習慣的物事や現象を表す語は並列的な構成の始めに置かれる。一方、悪い、小さい、それほど重要でないこと、めったにない物事や現象を表す語は後ろに置かれる傾向がある」と述べている。中国語の親族呼称システムにおいては、性別、年齢、同族内年令序列、宗親（同一祖先の親族一族）、直系・傍系親族などの要素で親族の関係を区分することができる。二つの親族呼称を連ねる場合は、下表に示すように、男性、年長者、目上の者、宗親、直系親族などの親族呼称が前のほうに置き、女性、年少者、目下の者、非宗親、傍系親族などの親族呼称を後ろに置くことになる。

（訳者注：親族呼称の例では、中国語と日本語の書き方や意味が異なる場合に、著者の中国語の原文の後ろに日本語訳を括弧で表記した。）

* 天津師範大学

** 天津師範大学

*** 三重大学

排列順序	親族呼称の例
男性+女性	父母(父母) 公婆(しゅうととしゅうとめ) 夫妇(夫婦) 夫妻(夫妻) 子女(子女) 儿女(息子と娘) 兄妹(兄妹)
年長者+年少者	兄弟(兄弟) 姐妹(姉妹) 姊妹(姉妹) 兄妹(兄妹) 姐弟(姉弟)
目上の者+目下の者	父子(父子) 母子(母子) 父女(父と娘) 母女(母と娘) 儿孙(子どもと孫) 子孙(子孫)
宗親+非宗親	叔嫂(夫の弟と兄嫁)
直系+傍系	子侄(息子と甥)

以上に述べた序列を決める五つの規定的要素においては、性別と年齢は親族呼称を連ねる順序だけに適用されるわけではない。男性が前、女性が後ろであるということ、「女男(女男)」ではなく、「男女(男女)」と言う。「母公(雌雄)」ではなく、「公母(雄雌)」と言う。そして、同じように年長者が前、年少者が後ろであるということ、「长幼(年長年少)」「老少(老人若者)」「老小(老人子ども)」と使用される。性別要素、年齢要素と違い、同族内年令序列、宗親(同一祖先の親族の一族)、直系・傍系親族の三つの要素は親族呼称を連ねる場合の順序に適用する要素だと考えられる。性別、年齢と同族内年令序列の三つの要素は尊卑の違いを表すことに対し、宗親(同一祖先の親族の一族)と直系・傍系親族の二つの要素は親疎の違いを表すことになる。

一般的に親族呼称を連ねる順序は厳密に同族内年令序列、宗親(同一祖先の親族の一族)、直系・傍系親族によって決められる。例外は比較的少ない。しかし、親族呼称の序列はいつも性別や年齢によって決められるわけではない。もし性別と年齢による排列と同族内年令序列、宗親(同一祖先の親族の一族)、直系・傍系親族による排列の間に矛盾や食い違いが生じた場合には、後者の排列になる。つまり、性別と年齢によることではなく、同族内年令序列、宗親(同一祖先の親族の一族)、直系・傍系親族によって、排列される。例えば、「母子」は同族内年令序列による排列される構成様式である。「母」が女性で、「子」が男性であるため、性別要素で言うなら「子母」となるが、そう言わない。これ以外に、血縁関係のある母と子だと、「母」が年長者で、「子」が年少者であるのは当然であるが、「母子」の排列順序は年齢によって決められるとは言いにくい。なぜなら、継母と養子のことを考えてみれば、血縁関係のない母と子もいる。一般的に継母が年長者であるのはほとんどだが、そうでない場合もないとは言い切れない。養子が継母より年上の可能性もある。継母と養子の関係であれば年齢と関係なく、我々は「母子」と言うが、「子母」と言わない。この五つの要素の排列順序は次のような優先順位に従う。

性別<年齢<同族内年令序列/宗親(同一祖先の親族

の一族) /直系・傍系親族

もし性別要素と年齢要素の間に矛盾や食い違いが生じた場合には、年齢要素による排列になる。例えば、「兄弟(姉弟)」と言うのは、「姉」が年上で、「弟」が年下からである。性別要素によって「弟姐(弟姉)」になるわけはない。

以上に述べた分析より、親族呼称の意味が二音節の並列複合語を連ねる場合の順序を決定することが明らかになった。したがって、並列複合語を連ねる場合の順序を排列するには、意味が決定的要素であると考えられる。具体的に言えば、意味には、性別、年齢、同族内年令序列、宗親(同一祖先の親族の一族)、直系・傍系親族の五種類の要素が含まれている。この結論に対し、現在までに筆者は、意味や五種類の要素で解釈できない「甥舅(甥と母の兄弟)」という一つの例外しか発見できず、例外がかなり少ないと言える。排列順序にかんしては、ほとんどの場合に、意味が確かに決定的要素である。

二、多音節の並列複合語

二つの親族呼称の二音節複合語を組み合わせると多音節複合語になる。この二つの親族呼称の二音節複合語の間には並列の関係がある。排列順序の規定的要素は二つあり、意味と構成様式とである。

意味は依然として重要な規制的要素である。以上に述べた五種類の具体的な要素も依然として重要な規制的働きを果たしている。以下の表に示す。

排列順序	親族呼称の例
男性+女性	爸爸妈妈(父母) 公公婆婆(しゅうととしゅうとめ) 叔叔婶婶(叔父叔母) 哥哥姐姐(兄姉) 表弟表妹(母方の年下の男のいとこと母方の年下の女のいとこ)
年長者+年少者	哥哥弟弟(兄弟) 姐姐妹妹(姉妹) 哥哥妹妹(兄妹) 姐姐弟弟(姉弟) 表哥表弟(母方の年上の男のいとこと母方の年下の男のいとこ)
目上の者+目下の者	爷爷孙子(祖父孫) 爸爸女儿(父娘) 妈妈儿子(母息子) 儿子孙子(息子孫)
宗親+非宗親	哥哥嫂子(兄と兄の妻) 妹妹妹夫(妹と妹の夫) 女儿女婿(娘と娘の夫) 姑姑姑父(父の姉妹と父の姉妹の夫)
直系+傍系	爸爸姑姑(父と父の姉妹) 儿子侄子(息子甥) 闺女侄女(娘姪)

この五種類の要素の順序構成に及ぼす重さはそれぞれ同じではないが、二音節の並列複合語を連ねる場合の順序と同様に以下の順序に従う。

性別<年齢<同族内年令序列/宗親(同一祖先の親族の一族) /直系・傍系親族

この五種類の要素が、親族呼称の排列順序を決定する。

それらの間に矛盾や食い違いが生じた場合には、五種類の要素の順序構成に及ぼす重さによって排列するのが普通である。例えば、「姐姐弟弟 (姉弟)」という構成様式は性別要素ではなく、年齢要素によって排列される。しかし、「爸爸妈妈 (父母)」「哥哥姐姐 (兄妹)」などの多音節複合語は性別要素によって排列される。年齢から言えば、母、姉が年上で、父、兄が年下という可能性もあるが、字句の表面上の意味からは年齢のことは分からない。つまり、この場合の親族呼称の序列は言葉の意味によって決められる。人の実際の年齢によるものではない。親族呼称を表す言葉から年齢が分からない場合に、年齢要素によって排列することはない。

意味のほかに、複合語構成様式も規定的要素の一つである。例えば、「姥姥姥爷 (母方の祖母と母方の祖父)」と言うが、「姥爷姥姥 (母方の祖父と母方の祖母)」とは言わない。なぜなら、「姥姥 (母方の祖母)」の構成様式は重ね型という構成様式だからである。親族呼称の多音節複合語の中に、重ね型の構成様式と非重ね型の構成様式が両方ある場合には、重ね型が前、非重ね型が後ろという原則に従う。つまり、次のように優先順位に従う。

非重ね型 < 重ね型

そのほかの例：哥哥嫂子 (兄と兄の妻) 弟弟妹妹 (弟と弟の妻) 姐姐姐夫 (姉と姉の夫) 妹妹妹夫 (妹と妹の夫) 舅舅舅妈 (母方の兄弟と母方の兄弟の妻) 姑姑姑父 (父の姉妹と父の姉妹の夫)

以上のように、全部重ね型が前、非重ね型が後ろという原則にしたがって排列される。当然、このような序列は意味に決められると理解してもいい。しかし、決して意味だけでなく、構成様式も一つの規定的要素であることを理解しなければならない。そうでなければ、なぜ「姥姥姥爷 (母方の祖母の話し言葉と母方の祖父の話し言葉)」と「外公外婆 (母方の祖母の書き言葉と母方の祖父の書き言葉)」の序列が違うかという問題が解釈できなくなる。「姥姥 (母方の祖母の話し言葉)」は「外婆 (母方の祖母の書き言葉)」であるし、「姥爷 (母方の祖父の話し言葉)」は「外公 (母方の祖父の書き言葉)」であるので、意味が完全に同じである。したがって、ここの序列の違いは意味に決められるのではなく、複合語構成様式から決められることが分かる。したがって、複合語構成様式も一つの規定的要素であると言える。

三、順序が逆になる場合について

親族呼称の排列順序は全部文法の問題ではない。語の構成方式以外、語の意味からの制約もある。したがって、文法関係の違いや表現上の必要性によっては、時には順序が逆になることもある。

二音節複合語内部の語の順序は比較的固定してい

るが、多音節複合語の内部の順序は相対的に融通性がある。

(一)		(二)	
A	B	A	B
父母 (父母)	母父 (母父)	爸爸妈妈 (父母)	妈妈爸爸 (母父)
夫妻 (夫妻)	妻夫 (妻夫)	丈夫妻子 (夫妻)	妻子丈夫 (妻夫)
姐妹 (姉妹)	妹姐 (妹姉)	姐姐妹妹 (姉妹)	妹妹姐姐 (妹姉)
父子 (父子)	子父 (息子父)	爸爸儿子 (父子)	儿子爸爸 (息子父)

(一) の B 式の順序が逆になる可能性が低い。(二) の B 式の順序が逆になる可能性が比較的に高い。多音節複合語の中の二つの並列的成分語の間に、句読点や接続詞を使っていれば、順序が逆になる可能性がより高くなる。

A	B	C
妈妈爸爸 (母父)	妈妈、爸爸 (母、父)	妈妈和爸爸 (母と父)
妻子丈夫 (妻夫)	妻子、丈夫 (妻、夫)	妻子和丈夫 (妻と夫)
妹妹姐姐 (妹姉)	妹妹、姐姐 (妹、姉)	妹妹和姐姐 (妹と姉)
儿子爸爸 (息子父)	儿子、爸爸 (息子、父)	儿子和爸爸 (息子と父)

A 式、B 式、C 式の中に、A 式の順序が逆になる可能性は比較的に低い。B 式と C 式の順序が逆になる可能性が高い。

もし二つの並列的部分に修飾語があると、順序が逆になる可能性がより高くなる。

A	B	C
妈妈、爸爸 (母、父)	妈妈和爸爸 (母と父)	小王的妈妈和小李的爸爸 (王さんの母と李さんの父)
妻子、丈夫 (妻、夫)	妻子和丈夫 (妻と夫)	小王的妻子和小李的丈夫 (王さんの妻と李さんの夫)
妹妹、姐姐 (妹、姉)	妹妹和姐姐 (妹と姉)	我妹妹和你姐姐 (私の妹とあなたの姉)
儿子、爸爸 (息子、父)	儿子和爸爸 (息子と父)	我儿子和你爸爸 (私の息子とあなたの父)

A 式、B 式、C 式の中に、A 式の順序が逆になる可能性は比較的に低い。B 式と C 式の順序が逆になる可能性が高い。

表現上の必要性によっては、時には順序が逆になることもある。例えば、実質的な表現上の要素によることである。

(1) 宝宝会叫妈妈爸爸了。(日本語訳) 赤ちゃんが初め

てママパパを呼んだ。

(2) 房产证上写的我妈妈爸爸的名字。(日本語訳) 不動産証書に私の母と父の名前が書かれた。

(3) 后来姑父因病去世, 姑母改嫁, 带走了表妹和表弟。……我多次来盐城, 试图寻找他们姐弟俩, 但一直未能找到。(日本語訳) その後、おじさんが病気でなくなって、おばさんがいとこの妹といとこの弟を連れて再婚しました。…私はあの姉弟を探そうと思って、何度も塩城に来ましたが、見つかりませんでした。

例 (1)、赤ちゃんがまずママを呼ぶことができたら、パパを呼ぶことができるようになるのは普通である。

例 (2)、不動産証書に、お母さんの名前が前のページに書かれて、お父さんの名前が後ろのページに書かれた可能性がある。

例 (3)、いとこの妹がいとこの弟のお姉さんということである。

表現上の語の意味に重点を置く場合にも、順序が逆になることがある。例えばアニメの「頭の大きい息子と頭の小さいお父ちゃん」(《大头儿子和小头爸爸》)、頭の大きい息子が主人公なので、頭の大きい息子という語に重点を置く。だから、頭の大きい息子が前に置かれ、お父さんが後ろに置かれている。児童読み物の「息子お父さんお父さん息子」(《儿子爸爸爸爸儿子》)、主人公が腕白小僧の馬小跳なので、序列は「息子お父さん」になる。後ろに「お父さん息子」という多音節複合語が付いているが、後ろに置かれたのである。

また、例として、

(4) 只希望您莫不合情理不分家庭情况的绞尽脑汁地想尽一切办法向女婿女儿要钱捞钱, 也更希望您别把女婿和女儿当作您的提款机! (日本語訳) 情理に悖って、家庭の経済状況を問わずに、ひたすら娘婿と娘からあぶく銭をもうけるのをやめてくれませんか。娘婿と娘をATMとして使わないでくれる!

(5) 每次回家, 我和哥哥姐姐都会买很多的东西给姑父姑姑。(日本語訳) 家に帰るたびに、おじさんとおばさんのために、私は兄と姉といっばい買い物をする。

例 (4) は娘の夫が妻のお母さんに言う話である。娘婿の意志であることを強調したい、強く言いたい例である。つまり、妻のお母さんにもう娘の夫からあぶく銭をもらうなど言いたい。もう娘の夫をATMとして使うなど願っている。例 (5)、おじさんが「私」を一番可愛がる人である。「私」の言いたい意味の重点はおじさんのことである。

その語が常用されているか否かによって、時には順序が逆になることもある。例えば、

(6) 那时(爱人)没有被广泛地用于对妻子或丈夫的称呼。(日本語訳) あの時、「爱人」(中国語で「配偶者」の意)はまだ幅広く妻あるいは夫の呼称に使われていなかった。

“爱人”は妻のことでも夫のことでも使えるが、妻のことを指すことが多い。

前後の文脈によって、順序が逆になることもある。ここには、全文からの続きを受け、順序が逆になる場合と後の文を受け、順序が逆になる場合に分けられる。

(7) “这是我妈妈的照片, 漂亮吧?” “真漂亮, 你妈妈和你爸爸做什么工作啊?” (日本語訳) A:「これは母の写真です。(母は) 綺麗でしょう」。B:「本当に綺麗(なお母さん)ですね。ご両親はどんなお仕事をしていますか?」。(訳者注: AとBの会話例)

(8) 途中, 妹夫他哥哥打电话说初六晚上在家做火锅请妹夫他们一家人去吃饭, 妹夫妹妹答应如果初六晚前能回家就去。(日本語訳) 途中で、妹のご主人のお兄さんから電話がかかってきました。旧暦の六日の夜に家で妹のご主人の一家と一緒に鍋をしようと誘っていたのです。妹のご主人と妹は旧暦の六日に家に戻れば行くと返事した。

(9) 侄子和儿子哪个亲? 貌似现在看来是侄子比较亲。(日本語訳) 甥と息子、誰が一番親しいですか? 今見たところでは、甥のほうが親しいようですね。

例 (7) と例 (8) は全文からの続きを受け、順序が逆になる例である。例 (9) は後ろの文を受け、順序が逆になる例である。

四、結論

現代中国語の親族呼称のうち、並列複合語は、一定の順序によって配列される。二音節並列複合語においては、親族呼称を連ねる順序を決める決定的要因は語意、つまり、語の意味である。具体的に言えば、性別、年齢、同族内年令序列、宗親(同一祖先の親族一族)、直系・傍系親族という五種類の要素が含まれている。この五種類の要素の順序構成に及ぼす重さはそれぞれ同じではない。それらの間に矛盾や食い違いが生じた場合には、ここでは従うべき順序が直系・傍系親族、宗親(同一祖先の親族一族)、同族内年令序列、年齢、性別の順となる。つまり、この五つの要素の排列順序は次のような優先順位に従う。

性別<年齢<同族内年令序列/宗親(同一祖先の親族の一族)/直系・傍系親族

多音節の並列複合語の規定的要素は二つあり、意味と複合語構成様式とである。五種類の要素の順序構成に及ぼす重さがそれぞれ同じではないため、それらの間に矛盾や食い違いが生じた場合には、従うべき順序は二音節の並列複合語のと同じになる。構成様式の方は、重ね型と非重ね型とに分けられる。従うべき順序は、

非重ね型<重ね型

排列順序は決して固定的で不変なものではない。二音節複合語内部の二つの構成成分語の順序は相対的に固定し

ているが、多音節複合語内部の成分語の順序には柔軟性があり、二つの構成成分語の関係が緩ければ緩いほど、順序が逆になる可能性が高くなる。これ以外に、二つの並列的な親族呼称が二音節複合語に構成していない場合、つまり、単一語としてあるのなら、順序が逆になることもある。例えば、子母弾(散弾)、子母机(子機と親機)子母电话(子機電話と親機電話)など。「子母」は新しい語彙になっていない。ただの語の構成する単一語なので、序列は新しい語彙の「母子」と違う。

表現上の必要性によっては、時には順序が逆になることもある。それらは四つの場合に分けることができる。一つは、実生活にあったそのままの順番、二つは、強調したい語を前にという順番、三つは、その語が常用されているか否かによるもの、四つは、前後の文脈によるものである。順序が逆になることが親族呼称における逆になる順序のことと言う。もし親しげにふるまうために、親族呼称を言い換えるなら、例えば、「姑嫂」(ある女性と彼女の兄弟の妻)を「姐妹(姉妹)」と言い換えるなど。これは我々の研究している範囲を超えるため、ここで論じない。我々は実際の親族の関係を考えずに、親族呼称の排列順序だけを検討する。

本論文で、二つの親族呼称を連ねる場合について検討した。本論文の結論は同様に三つあるいは三つ以上の親族呼称を連ねる場合に適用する。例えば、

(10) 我和父母、妹妹、妹夫及他们不到三岁的儿子于大年初一一起开车去重庆及周边旅游。(日本語訳) 旧暦の一日に私は、父母、妹、妹の主人と妹たちの2才過ぎの息子と一緒に車で重慶及びあの周辺に旅行に行きました。

(11) 别跟我说你分不清爸爸妈妈儿子女儿喔。(日本語訳) お父さん、お母さん、息子、娘を誰が誰か分からないとか言わないでね。

本稿の分析対象は現代中国語に限られている。古代漢語を研究する場合は、音声を重要な要因として考えるべきであ

る。例えば、「甥舅」(甥と母方の叔父)と言うが、「舅甥」(母方の叔父と甥)とは言わない。これは声調の規則が役割を果たしていると言えるかもしれない。

以上の資料であれ、分析であれ、初歩的に内容に過ぎないため、列挙が不完全で漏れ落ちがあるのは免れない。その点については今後の課題としたい。

参考文献：

- 1、陳愛文、于平(1979) 並列式双音詞的序、《中国語文》第2期 1979年
- 2、陳宏(2008) 現代漢語同義並列複合詞詞性、詞序分析、《南開語言學刊》第1期 2008年
- 3、程家枢、張雲徽(1989) 並列式双音複合名詞的序規律新探、《雲南教育學院學報》第1期 1989年
- 4、高璇(2011) 現代漢語親屬成稱謂語素組合特點初探、《語言研究》第4期 2011年
- 5、許巧雲、打西阿且(2007) 漢彝英親屬稱謂詞所反映的民族文化探析、《西南民族大學學報》第6期 2007年
- 6、劉又辛、張博(2002) 漢語同族複合詞的構成規律及特點、《言語研究》第1期 2002年
- 7、張岡(1980) 「調序說」異議、《中国語文》第5期 1980年
- 8、鄭献芹(2006) 近十年来漢語稱謂詞語研究概況及分析、《江西社會科學》第5期 2006年
- 9、周薦(1986) 並列結構內詞語的順序問題、《天津師大學報》第5期 1986年

*なお、日本語訳については劉妍(天津師範大学、三重大学DD卒業)にお世話になった。